

病院機構だより

府中市病院機構で医学生の実習を受け入れました

府中市病院機構では地域医療を志す医学生を対象とした、「地域医療セミナー」を開催しました。

このセミナーは、広島大学医学部と、医療機関の医師確保を支援する広島県地域医療支援センターが主催し、実際の医療現場での体験を通して、地域医療への理解を深めることや、先輩医師との交流により、将来医師として働くことへの意欲向上を図ることを目的としています。

◎府中市市民病院

岡山大学、広島大学から、合計10人の医学生が1泊2日で参加しました。

実習では外来診療現場の見学や、医師による整形外科の手術手技体験、看護師が医師に求める指示内容を説明した後、訪問看護や地

域包括支援センターの活動として自宅への訪問に同行し、患者さんの生活背景に応じた在宅看護や支援の現状を体験してもらいました。



また、地域医療や救急医療に長年従事してきた医師からの経験談を聞き、内容の濃い2日間を過ごしてもらいました。

参加者からは「院内多職

問い合わせ先

(地独) 府中市病院
機構事務局
(☎45-3300)

種の話聞くことができた
り、患者さんのもとを訪れることができ、充実した実習となった」「普段聞くことができない地域医療の課題や現実を聞き、一生忘れられない、地域医療を志す者にとって非常に重要な実習ができた」との感想がありました。



◎府中市市民病院

広島大学、自治医科大学

から合計6人の医学生を受け入れ、当院が行っている地域医療について学んでもらいました。



初日はオリエンテーションの後、当院の診療体制や地域活動について説明を行いました。午後からは、自宅への訪問診療や、福祉施設での診療へ同行。病院に戻ってからは内視鏡や超音波検査を体験。二日目は、実際に外来診療の見学や、初診患者さんの問診を体験してもらいました。

担当した医師が終始学生に声をかけ、診療のポイントや患者さんに接する際の注意点などをアドバイスするほか、自身の学生生活の

体験などについて気軽に声をかけるなど、一つでも多くの事を学べるように説明しました。

2日間と短い時間でしたが、参加した学生からは「将来地域医療に携わるにあたり、具体的なイメージを持つことができた」との感想がありました。



今回参加した医学生の中から、将来、府中地域の医療を担う医師が生まれる手応えを職員一同感じることができました。

府中市病院機構では、このような若手医師育成の活動に今後も継続して取り組んでいきます。